

明けましておめでとございます。
 新たな年こそ、昨年のようなデフレ
 スパイラル、インフルエンザ、失業と
 皆さんで心配しなくても良い年であっ
 てもらいたいと願っています。

さて、医療法人東和会小林病院が御
 当地春日町で皆様方にお世話になり始
 めて、早いもので三十五回目の正月を
 迎えたことになりました。何とか仕事
 続けられ、閉院もせずに職員一同頑
 張れるのも、一重に地域の各位の御支
 援御指導によるものと、深く感謝致し
 ております。

今後も、私どもの理念を少しでも実
 現し、皆様に御愛顧頂ける病院であり
 たいと役員一同念じております。そ



新年のご挨拶
 医療法人東和会小林病院
 理事長 小林芳治



- 創刊号 -
 発行:医療法人東和会
 小林病院
 病院長 原 忠之
 〒721-0907
 福山市春日町7-1-18
 084-943-3111

医療法人東和会の理念
 私たちは、皆さまが暮らし慣れた地
 域の中で健やかな生活を送っていた
 だけよう、保健・医療・介護の連
 携のもとに地域の福祉の推進に貢献
 することを使命としています

- 一・あなたにとって最良のサービス
 をさせていただきます
- 二・科学的で、かつ適正な保健・医療
 介護を提供します
- 三・地域における福祉の増進をはか
 ります
- 四・効率の良い経営を目指します
- 五・職員は研鑽に努め、明るい職場
 をつくりま



のためにはスタッフはサービス業の原
 点にかえって業務の遂行をしなければ
 なりません。
 各位の御健康と御多幸をお祈りしま
 す。

二〇一〇年 元旦

新年、明けましておめでとござい
 ます。

このたび、小林病院の病院広報誌を
 創刊させていただく事になりました。
 インターネット全盛の時代ではありま
 すが、ホームページのリニューアルも
 含めて、広報誌を創刊する事で、これ
 までも増して小林病院の情報を知っ
 ていただける事と願っております。

「羅針盤」とは磁石の作用を用いて
 方位を知るための道具であります。医
 療を取り巻く環境も、現在の不況とデ
 フレの中で非常に厳しくなってきたてお
 りますが、私たちはこの荒波の中でも、
 常に正しい方向へ導いてくれる、「羅
 針盤」でありたいと願っています。

通院患者様に於いては、治療を続け
 ながらも健康で暮らせる事、入院患者
 様に於いては、「癒しの空間」として
 の役割が果たせるような病棟である事、
 日々の業務を職員一同が常に改善でき
 るよう、頑張っていきたいと思ってい



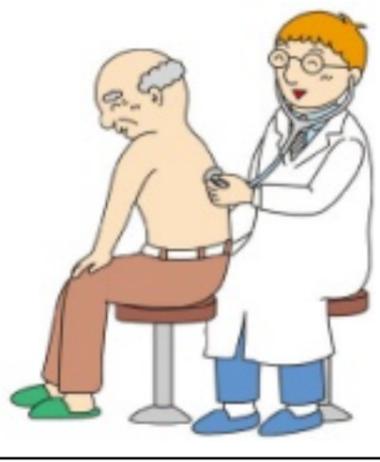
診療室だより
 一 広報誌創刊に向けて
 病院長 原 忠之

私が小林病院の病院長に就任して、
 もうすぐ2年になるつとしております。
 患者様には御無理な事をお願いしたり、
 また不愉快な気持ちを持たせたりと、し
 かられる事が多い日々ではありましたが、
 その中でも励ましていただけた時
 には感謝の念を思わずにはいられませ
 んでした。

これからも、この春日の地において、
 患者様や職員、また関連グループを利
 用されている方々や関係職員一同から
 信頼され、期待される小林病院になれ
 るよう、頑張っていきたいと思ってい
 ります。

この広報誌は年に4回の発行を目指
 しております。この中で私自身が考え
 ている事や消化器病専門医としての話
 題などを披露できればと考えておりま
 す。

今後も、今にも増しての御指導、御
 鞭撻のほど、よろしくお願いいたしま
 す。



サービスハウス サンビレッジ 新館誕生
 高齢者向け専用住宅

平成22年4月開設 入居者募集！！

お問い合わせ先：社会福祉法人東光会 担当（伊藤・岡本） 084-941-5255

私共社会福祉法人東光会は、現在、
 春日町にある介護老人保健施設サンビ
 レッジの南側に高齢者向け専用住宅を
 平成二十二年四月開設に向けて建設中
 です。

1人用58戸、2人用12戸の総戸
 数70戸のうち、30戸は福山市の家
 賃補助対象の地域優良賃貸住宅となっ
 ています。

平成21年9月現在、福山市の総人
 口46万5千人のうち、65歳以上の
 方は22.3%に当たる10万3千人
 で、その約半数が高齢者夫婦のみ、ま
 たは一人暮らしの世帯となっています。
 要支援・要介護認定者数も推計では約
 2万人おられ、今後も増加を続けてい
 くものと思われる。

これから超高齢社会を迎える日本全
 体の課題の一つは、高齢者ができる限
 り住み慣れた地域で安心して生活が送
 れるための住まいをどのように整備し
 ていくのかという事です。

「サービスハウス サンビレッジ
 アネックス(以下「アネックス」)は国
 土交通省と厚生労働省の提唱する「住
 居・見守り・食事・介護・医療の五つ
 の安心を確保した住空間構想」を担う
 べく計画いたしました。

「アネックス」は、入居される方の毎
 日の生活の根幹となる「住宅」です。
 また介護保険上は、自立の方も介護が
 必要な方も、自分に合った生活スタ
 イルで過ごす事ができる「外部サ
 ビス
 利用型特定施設」でもあります。安否
 確認・生活相談・ケアプラン作成等の



基本サービスは当施設のスタッフが行
 い、入浴・排泄・食事等の日常生活上
 のお世話や機能訓練、療養上のお世話
 等は利用者様の生活スタイルに合わせ
 て、必要な時だけ外部サービス提供事
 業者が介護サービスを行います。

「アネックス」が公的な介護保険制
 度を利用して運営される社会性・公益
 性の高い事業であることを十二分に認
 識して、地域の皆様の一助になれるよ
 う事業を行って参る所存です。

(社会福祉法人東光会
 事務局長 大中良彦)

病院案内

副院長 海野 剛



当院の外來は内科と小児科です。内科の中でも小林理事長と原病院院長は消化器疾患と生活習慣病が得意で、私は呼吸器疾患、即ち肺の病気が得意分野です。また、三人とも循環器や内分泌、神経、アレルギーなど他の分野も経験がありますので内科ほぼ全域をカバーします。今回は私から呼吸器診療につ



東芝線CT装置 Asteion/Super 4

いて紹介します。

わが国で呼吸器疾患は急増しており、二〇〇五年に肺癌が男性の癌による死亡の内訳で最多となりました。また、慢性閉塞性肺疾患(COPD)という病気も急増しています。そして、喘息も患者数の多い病気です。しかし、呼吸器専門医は不足しており、福山市内に呼吸器学会認定専門医は12名のみ、このうち私を含めた3名が指導医の資格を保持しています。

当院における呼吸器疾患で多いのは喘息とCOPD、肺炎などですが、肺癌の早期発見例や抗癌剤による治療で劇的な改善を得た例もあります。設備の面でもマルチスライスCTや気管支鏡を含めた精密検査が可能です。また、呼吸器診療に欠かせない肺機能検査も可能です。さらに、様々な肺の病気の原因であるタバコに対して禁煙治療を早くから始めており、十分な実績を挙げています。

生活習慣病など一般診療の一方で専門的な呼吸器診療も行っていることを地域の皆様方に知って頂いて、より多くの方のお役に立てればと考える次第です。



栄養教室

管理栄養士 西 香織



この度、管理栄養士の栄養教室と題しまして、管理栄養士の立場からみた「食」について役立つ情報を皆様にお伝えできたらと思います。

今回は、11月、翌年1月の冬場に多発するノロウイルス食中毒についてお話しします。

ノロウイルスは大変小さく、人の腸で増えて食中毒を起こしますので少量でも体内に入ると食中毒を発症してしまつという厄介者です。発症すると吐き気・嘔吐・下痢・腹痛、38度以下の発熱がみられ、通常1〜2日で治癒します。しかしその後約1週間は糞便中にウイルスが多量に排出されるので注意が必要です。

感染源は、感染者の糞便や嘔吐物を介して人から人への感染が最も多く、全体の約6割を占めています。続いて牡蠣などの2枚貝の生食や、ウイルスに汚染された食品・飲料水・調理器具からの感染も多くみられます。

予防法として

は、調理前・食事前・トイレ後は十分に手を洗いましょ。というのもノロウイルスは小さいと前述しましたが、例えばトイレトペーパーを30枚重ねても簡単に通過して手に付着しますので必ず石鹸を使って洗いましょ。石鹸自体にはウイルスを失活する効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことによりウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。現に、新型インフルエンザの流行による手洗いやうがいなどの予防対策が思わぬ効果を生んでいるようです。今年も過去10年でみてもノロウイルスによる食中毒が非常に少ないとのこと。

次に、ウイルスは熱に弱いので、食品を加熱する場合は中心までよく火を通しましょ。また、牡蠣などの2枚貝の生食はできるだけ避け、中心部まで十分に加熱して食へましょ。

ノロウイルスに注意！！



職員紹介

平成二十一年度採用

【高橋浩伸】介護福祉士 六月採用



はじめまして。この度小林病院で勤務させていただくことになりました高橋です。

最初は仕事や周りの環境に馴染んでいけるか心配でしたが、職員の皆さんが明るくいつも声をかけてくださったので、少しずつですが慣れていくことが出来ました。

まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【薬師寺明子】介護福祉士 六月採用



六月中旬より、当院介護職としてお世話になっております。まだ不完全な

【大西高敬】介護職員 四月採用



所だらけですが、早く一人前の介護職になれるよう努力していきます。よろしくお願ひします。

こんにちは、大西です。この仕事に就いて間もないので、日々勉強の毎日です。これからもよろしくお願ひします。

【大野恭弘】介護職員 四月採用



介護の仕事は初めてなのですが、今は介護業務を一つ一つ覚え、皆様に信頼され、明るく楽しい介護を目指しサービスが提供できるよう頑張ります。



連携室だより

看護師長 佐藤眞佐美



この度小林病院広報誌を発行するにあたり、連携室だよりを担当することになりました。まずは簡単にですが、自己紹介をさせていただきます。

10年前、当院に就職し、病棟、外来勤務を経て、平成16年8月より看護師長に就任し、日々皆様に支えられ見守られながら仕事をしております。平成21年7月より地域連携室を兼務しております。はじめての方も多いとは思いますが、よろしくお願ひ致します。

地域連携室の仕事は、他院からのご紹介による入院、当院退院時のサービス調整、東和グループ内の連携等行っています。

当院の病棟は、急性期一般の病院とは違い療養型医療施設です。発症後急性期治療が済み、病状が安定し、自宅復帰までもう少し時間を要する方が療養される場があります。療養型といっても病院なので一般的な治療は受けることが出来ます。

医療保険適用46床、介護保険適用14床と2種類の保険適用病床があり、介護病棟は、ケアプランを立ててサービスを行います。入院中の介護保険更新申請の代行や、その他公的申請の代行相談も行っております。

他院からの入院の中では、入院継続の方、施設への入所希望の方、自宅へ帰られる方がおられます。それぞれのケースは多様で、その一部分での関わりではあります。とても貴重な場面を共有することであり、有難いことだと思っております。

まだまだ連携室に担当となつて勉強していかなければならないことが沢山ありますが、多くの方々とお会い、沢山の繋がりを大切にしながら今後頑張っていきたいと思っております。

当院への入院、通院、介護保険サービス利用等、お困りのことがございましたらご相談下さい。お手伝いさせていただきます。

